



2020年 1月16日  
第77号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 横浜地本2020新春旗開き開催

1月13日かながわ労働プラザにおいて、横浜地本新春旗開きを開催しました。多くの組合員の結集と委員長の年頭所感・書記長の基調報告（別号で記載予定）、各支部からの決意表明により、横浜地本は力強く新たな年のスタートをきりました。

### 【各支部決意表明（要旨）】



#### 【川崎支部】

主体性のない社員が増えている。会社の将来に危機感を持っている。この間、東労組が今まで取り組んできたことの成果と必要性を伝えてきた。不当労働行為は組合員自身が指摘できれば止めることができる。組織の拡大こそが交渉力の強化となり、組合員の利益を守る。川崎運輸区・中原支所（仮称）分会の設立を成し遂げていく。



#### 【大船支部】

何事も主体的に捉え東労組を実践する年だ。いまだに18春闘を主体的に大敗北と総括できない三地本指導部は組織的に認められない。組合員を置き去りにせず職場で発生する問題を解決し、「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感してもらえる運動づくりを目指していく。



#### 【横浜支部】

ライフサイクルの深度化施策を担い駅職場で東労組の組織強化・拡大を担っていく決意だ。しかし、希望でもない乗務線区でもない駅への異動を通告された。ライフサイクル深度化の最終年で、会社はこの施策の形骸化を狙っている。分会、支部、地本と連携してたたかっていく。



#### 【小田原支部】

再加入を実現した。18春闘の「組合員と本当の意味で向き合えていなかった」という否定的教訓から、「自分はどうしたいのか」という本人の意思を尊重し、誤魔化さず分会が誠実に向き合ってきた結果が今回の再加入だ。組合員一人一人の実践をつくり出し、職場の声に誠実に向き合い共に歩んでいく。

### 【参加して下さった議員の皆さま】

◆参議院議員／牧山ひろえ（秘書）◆衆議院議員／早稲田ゆき／しのはら豪（秘書）／山崎誠（秘書）◆JR東労組議員団会議／岡田和則（幹事・前鎌倉市議会議員）◆神奈川県議会議員／寺崎雄介／作山友祐／日下景子／近藤大輔／ためや義隆／飯野まさたけ◆横須賀市議会議員／小林のぶゆき◆元衆議院議員／岡本英子／樋高剛（敬称略・順不同）



# 横浜地本は今年も仲間と共に歩み 組織強化・拡大を実現していきます！